

## 宮崎県の温室効果ガス<sup>※1</sup>排出状況の推移(総括表)

単位:千t-CO<sub>2</sub>

指標項目		平成25年度 (基準年) <sup>※2</sup>	平成29年度 <sup>※2</sup>	平成30年度			
		排出量	排出量	排出量	基準年比	前年度比	
二酸化炭素	エネルギー起源	産業部門	4,125	3,210	3,099	▲ 24.9%	▲ 3.5%
		業務部門	1,969	1,294	1,212	▲ 38.4%	▲ 6.3%
		家庭部門	1,913	1,448	982	▲ 48.7%	▲ 32.2%
		運輸部門	2,761	2,583	2,543	▲ 7.9%	▲ 1.5%
		エネルギー 転換部門	64	71	142	120.6%	99.4%
		小計	10,832	8,606	7,978	▲ 26.4%	▲ 7.3%
	非エネルギー起源	301	315	290	▲ 3.7%	▲ 7.9%	
	二酸化炭素 計		11,134	8,921	8,268	▲ 25.7%	▲ 7.3%
その他	一酸化二窒素	783	747	725	▲ 7.4%	▲ 2.9%	
	メタン・フロンガス等	804	798	769	▲ 4.3%	▲ 3.7%	
温室効果ガス 合計		12,721	10,466	9,762	▲ 23.3%	▲ 6.7%	
森林吸収量		4,377	3,800	3,914	▲ 10.6%	3.0%	
森林吸収量を差し引いた 温室効果ガス排出量		8,343	6,666	5,848	▲ 29.9%	▲ 12.3%	

※1 温室効果ガス:二酸化炭素、一酸化二窒素、メタン、代替フロン等4ガス(HFCs、PFCs、SF<sub>6</sub>、NF<sub>3</sub>)

※2 算定に使用している国の統計データの遡及修正に伴い再計算を実施したため、第四次環境基本計画等において過去に公表した数値と異なる